

令和3年度静岡県総合防災訓練



危機管理部 危機対策課

1

図上訓練 <本部運営訓練>

実施日時：9月1日（水）AM8：30～AM12：00

【重点項目】

- 「南海トラフ地震における静岡県広域受援計画（R3.3）」に基づき、国、市町及び防災関係機関との連携を確認
- デジタル技術を活用した新たな情報共有手段の確認



訓練では、国や自衛隊、電気・通信事業者の受け入れ手順、情報共有を確認



内閣府の災害時情報集約支援チーム（ISUT）のシステム（SIP4D）と連携した地図情報等を活用

2

県・御前崎市・菊川市総合防災〈実働〉訓練

実施日時：9月5日（日）AM8：00～AM12：00

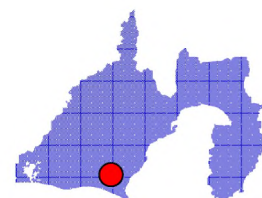
○静岡県では、「東海地震」や「南海トラフ巨大地震」などの大規模な地震災害に対処するため昭和54年から総合防災訓練に取り組んでいる

実施年度	実施日	主な開催場所	参加人数
令和2年度	新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和3年度に延期		
令和元年度	9月1日（日）	三島市、函南町、富士山静岡空港	85.4万人
平成30年度	9月2日（日）	静岡市（葵区、駿河区、清水区）、富士山静岡空港	76.4万人
平成29年度	9月3日（日）	沼津市、裾野市、清水町、長泉町、富士山静岡空港	85.2万人
平成28年度	9月4日（日）	掛川市、富士山静岡空港	86万人

【訓練テーマ】



高めよう防災力、命と地域を守る行動力！
～みんなで取り組もう自助・共助・公助～



3

〈実働訓練〉重点項目

【共通重点項目】

◎新型コロナウイルス感染症流行下の災害を想定した各種活動の訓練

○感染症流行下での
避難所の設置・運営訓練



避難所受付
（体調不良者）



避難所のスペース

○感染症流行下での
負傷者救出訓練



感染防護衣、高性能マスク、
ゴーグルを着装した救急隊員
による救出・救助

4

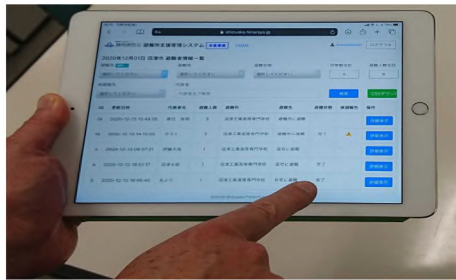
総合防災アプリ「静岡県防災」

○防災アプリの避難所運営支援機能感染症流行下における避難所の受付訓練に活用

スムーズな受付で避難所入口の人流停滞を防止

個々の避難者の体調変化を非接触で常に管理

重要な情報を避難者に一斉配信



○訓練に合わせて、より安全で効率的な避難所運営を習得

富士山静岡空港・御前崎港の活用

○国や自衛隊などと連携し、空路・海路を利用した実践的な訓練を展開

○富士山静岡空港へ来援する航空機等の受入訓練



来援航空機（自衛隊、他県消防防災ヘリ）の受入訓練

○御前崎港で海上漂流者の捜索・救出・救助訓練等

巡視船いず（海上保安庁）や消防防災ヘリによる海上漂流者の救出・救助訓練



清龍丸（中部地方整備局）による流出油回収訓練